

活動報告

交野市や枚方市など近隣の地域に出向き、「認知症種類別の特徴と関わり方のポイント」「今日から始めよう認知症予防」など市民講座を行ってきました。127名ものたくさんの方々に参加していただき、「最近物忘れが増え、認知症かもと不安に思っている」「被害妄想や徘徊など介護方法に悩んでいる」「怒りっぽい。ケアも拒否され、どう関わって良いかわからない」「きちんと出来ないのに、自分でしたが、余計手間がかかり大変」「デイサービスを利用して欲しいが、本人が嫌がり行ってくれない」等々、悩みを抱えておられる方々がたくさんおられ、そして**どこに相談に行けば良いのか分からず困っておられる**ことを知りました。

そういった市民の方々の声を聞き、2020年4月から**認知症患者・家族を対象に認知症看護外来**を行う予定でしたが、COVID-19の感染予防のため開催を見合わせています。**今後の動向を見ながら、認知症看護外来の開催時期をお伝えしていきたいと思っています。**認知症看護外来は、認知症介護に関する相談助言、介護者の精神的サポートを行い、認知症者ができる限り住み慣れた地域の良い環境で、自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指した専門外来です。毎月第2木曜日に行い、当院の患者だけでなく、地域住民の方も受け入れています。完全予約制でゆっくりお話が伺えるよう一人60分、一日に5枠にしています。初回のみ診察券発行に220円の費用をいただきますが、2回目以降は完全無料です。(当院の診察券をお持ちの方は、初回も無料です)認知症看護外来に来てくださる方々のお悩みを少しでも解消できるよう、頑張っていきたいと思えます。

認知症看護外来



認知症かもと不安になったり、認知症介護に悩んでおられませんか？

例えば、最近もの忘れが増え心配、被害妄想や徘徊など、認知症に関するお悩みを認知症看護認定看護師がお聞きします。



**完全予約制で
ゆっくりお話をうかがいます。**



認定看護師の豆知識

パンデミックの終わり方とは

新型コロナウイルスの世界的大流行において、「パンデミック」という言葉が使われていますが、パンデミックとは？終息とは？どのような状態なのでしょう？

1. パンデミックとは？

「パンデミック(Pandemic)」という言葉のもともとの意味は、地理的に広い範囲の世界的流行および、非常に多くの数の感染者や患者が発生する流行を意味します。実際には、WHOフェーズの6をもって、パンデミックということになります。

2. パンデミックの終わり方とは？

歴史学者によるパンデミックの終わり方は2通り

1. 「医学的終息」: 罹患率と死亡率が大きく減少して終わる。
2. 「社会的終息」: 病気に対する恐怖心が薄れてきて終わる。

つまり、病気を抑え込むことによって終わりが訪れるのではなく、人々がパニック状態に疲れて、病気とともに生きようになることによっても、パンデミックは終わるということです。

現時点では、新型コロナウイルスの根絶はむずかしく、ワクチンや効果的な治療法は確立されていません。WHOが「日本の自粛」に高い評価を示しているように、**国民の「頑張り」で感染者数は激減し、全国的に緊急事態宣言が解除されました。**その国民が、第2波、第3波を恐れている一方で、「もううんざりだ、もう普通の生活に戻ってもいいはずだ」という気持ちが抑えられなくなってきています。**「医学的終息」の前に、「社会的終息」を迎えるのかもしれませんが。**新型コロナウイルスに、どう向き合っ、どのような備えをすべきなのか考えさせられます。

パンデミック前期	ヒト感染のリスクは低い	1
動物間に新しい亜型ウイルスが存在するがヒト感染はない	ヒト感染のリスクはより高い	2
パンデミックアラート期	ヒト-ヒト感染は無いが、または極めて限定されている	3
新しい亜型ウイルスによるヒト感染発生	ヒト-ヒト感染が増加していることの証拠がある	4
	かなりの数のヒト-ヒト感染があることの証拠がある	5
パンデミック期	効率よく持続したヒト-ヒト感染が確立	6

(原文:「世界インフルエンザ事前対策計画(WHO global influenza preparedness plan)」
http://www.who.int/csr/disease/avian_influenza/phase/en/index.html)

救急看護認定看護師

村上千亜紀

病棟ごとの勉強会 依頼受付中！

認定看護師会では病棟ごとの勉強会、研修を依頼を受けつけています。

既存のテーマでも、看護で困っていることなどなんでも結構です！

リクエストお待ちしております！

各分野電話番号



救急看護: 村上 8863

慢性心不全看護: 原谷 8154

感染管理: 篠原 8623

皮膚排泄ケア: 大西 8397

認知症看護: 藤原 8667

集中ケア: 堀内 8872

